

みなさんこんにちは。受賞おめでとうございます。

ご指名がありましたので、少しお話をさせていただきます。

最近、衝撃的なニュースがありました。鳥取県の市で長年続いていた「妖怪川柳コンテスト」が終了するということです。妖怪というのは、のっぺらぼうとか、ゲゲゲの鬼太郎とかですね。妖怪を題材にした人気のコンテストなんですが、どうして終了するか分かりますか？

人間が創作した川柳とAI（人工知能）が作った川柳の見分けがつかないから、というのが理由のようです。

本当でしょうか？ もし人間とAIの作品に違いがないとすると、例えば、みなさんが読んでいる様々な本や文学、絵本、あるいは音楽や美術、あらゆる文芸作品や芸術作品なども、すべてAIで出来るということです。

本当でしょうか？ そうすると、これまで人類が、何百年、何千年も積み重ねてきた**伝統や文化、人間の創造性、芸術の価値**はどうなってしまうのでしょうか？

とても深刻な課題を突き付けられた思いがしました。

今回の審査は事務局の方で取りまとめているので、最終的な詳細は分からないのですが、みなさんの作品を見させていただきながら、**審査の基準や方法、審査する側の力量がますます問われる**など実感しました。

それほど、受賞されたみなさんの作品は優劣がなく、どれも光るものがある素晴らしいものでした。とくに、一人一人が調べてみようと思った理由やテーマ、調べ方や感想など、自分の**生活や経験、感情に基づく、自分な**

らではの発想、独創性、創造性が光っていました。これはAIには決して出来ないことです。

例として、高学年の市長賞となった「選挙と政策」の作品のすごさについてお話をします。

この子は、政治に興味があって、将来政治家になりたいという思いもあり、「選挙」や「政策」について、他国と比較しながら、その歴史や仕組みなどを調べていきます。その過程で、地元昭島市の政治はどうなっているのか詳しく調べてみたくなりました。

さらに、昭島市議のみなさんにアンケートをとりたいと思い立って、なんと、市議のみなさんのご自宅を全部回って、アンケートを届けに行きました。すると、なんと、なんと、市議のみなさん全員が、アンケートに回答してくれたのです。

ここで、この子が学んだことは、市議のみなさんが、見知らぬ自分のために真剣になって協力してくださったということが一番ではないでしょうか。政治という少し遠い世界が、いっきに身近な存在になったようです。小学生にもかかわらず、市民を第一に考えて下さっている議員のみなさんの姿から、何よりも人としての温かみを感じ、自分の生き方を見つめ考える貴重な学びになったようです。それは、決してAIには出来ませんね。

今回、調べる学習コンクールに取り組んだみなさん全員、それぞれ、同じように、独自の価値があります。ぜひ来年度以降も学びを続け、探究心や創造性を培って、様々な可能性を探ってほしいと思います。

本日は受賞、まことにおめでとうございました。